

Poor Head English

Vol.1

*Written by
shiroa*

はじめに

どうして日本人はこんなに英語が苦手なんだろう？

他のアジア諸国の方たちは、平気で母国語と英語をしゃべってるのに。

そんな疑問がありました。

そしてふと、気付いたんです。

ああ、なんだ簡単なことだったんだ。

その簡単なことに気付くことができれば、誰だって英語ができるようになるんです。

だから、私は英語の学習を再開しました。学生時代、かなり成績が悪く、英語はもはや縁遠い存在と思ってましたが。

勉強しても身につくかどうかわからない……そう思いながらだと、学習にも身が入らないもの。勉強すれば必ず身につく！……そんな確信があれば、勉強だって熱が入ります。

ここでは私が気付いた “そんな簡単なこと” を、書いていきます。

別に英語の本ではありません。ただのバカなブログです。

バカな話を笑って読んでいたら、気が付いたら「英語って誰でも身につくんだ」って理解してる。

これはそんな本です。

私はかなり頭は悪い方ですが、この本を読み、参考に学習をすることで、

知能指数が相当低い人でも、日本語で書かれている漫画を楽しく読めるくらいの知能があれば、

誰でも！絶対に英語が身につきます。

これはそんな本です。

是非、ストレスなく、楽しみながら英語を共に学習しましょう。

私もまだ英語はできない方だと思います。NHK基準で言うと中級、くらいでしょうかね。

けれども、毎日、確実に英語力を伸ばしています。

それはそれは面白いくらいに伸びています。

しかもその学習にかけるのは 時間 のみで、 お金 は一切かけません！

これはそんな本です。

できるだけ英語が嫌いな人が、この本をきっかけに英語ができるようになってくれたらな。
そんなことを想像してワクワクしながら、この本を発行いたします。

～～ ・ ～～ ・ ～～ ・ ～～

この本は平成26年10月～12月に連載した私のブログを編集したものです。

そのため、英語の番組は当時が基準となっており、あなたが読む頃には終わっている番組もある
でしょう。

しかし、NHKの英語番組は必ず新しいものが製作され、放送されています。

しかもそれはかなり質の高いものであることが期待されます。

ですから、もしも観たい番組がなくとも、NHKの英語番組の中で、現在放送中のものを検索す
れば、

必ずあなたの学習に役に立つ番組が見つかるでしょう。

～～ ・ ～～ ・ ～～ ・ ～～

最新の連載についてはブログを確認下さい。

『shiroaのヴィバラ・ムー・ヴィー 流亡記』 -- 書庫は『英語』です。

<http://blogs.yahoo.co.jp/shiroapiano/>

○ CONTENTS ○

- 1、単語帳を使って憶える？ バカですか？？
- 2、言葉は自然に覚えられるわけ。
- 3、英単語は文章から覚えましょう。
- 4、英語を習得する最大のポイントは ”時間” です。
- 5、バカでも英語はマスターできます！
- 6、寝ている間に英語力がアップする、”夢”のような話です。
- 7、学習の為の、ざっくりとした時間の作り方。
- 8、英語番組紹介①『おとなの基礎英語』
- 9、英語番組紹介②聞き流しに最適？！『リトルチャロ』 & 『プレ基礎』
- 10、英語番組紹介③初心者にありがたい、基礎の基礎『テレビで基礎英語』
- 11、英語番組紹介④グラマーが好きですか？ それとも.....『しごとの基礎英語』
- 12、英語番組紹介⑤新聞よりもわかりやすい世界のニュースを『E-NEWS』
- 13、英語習得には文系が有利か？ 理系が有利か？
- 14、英語を覚えるために、いっぱい聞こう！ いっぱいつぶやこう！
- 15、レベルアップを実感できる！ 文章を聞いて、効果的に英語力アップするコツ！
- 16、楽しく確実に実力をつける外国人向け番組『ESL』

1、単語帳を使って憶える？ バカですか？？

英語の勉強始めて、はや半年です。

しろあです。

英語を勉強していてふと思うことがあるんです。

中学校の頃、テスト前に勉強する時、まずは単語を覚えようと単語帳を作って勉強していました。

英語を理解するには、まず、ひとつひとつの単語の意味を覚えないと話にならない。

そう 思いこんでいました。

けど、今はそんな勉強方法に疑問をもっています。

考えて下さい。

赤ちゃんは英語を覚えるために、単語帳を使っているのでしょうか？

単語帳なんてなかったって、単語は覚えられるんです。

それについての細かな考察は、今後ゆっくりと展開していきますが、

本日は「英語ができるようになりたかったら、単語帳を使うな！」という話をしたいと思います。

誤解のないように言っておきますが、単語帳を使うという勉強方法は悪くはないんです。

集中的に苦手克服。それなりに頭のいい人ならば、テストで点を取るための効果的な勉強法になるでしょう。

でも、英語ができるようになる、ということは、テストで良い点を取ることを目的ですか？？

ということが言いたいんです。

そして、記憶力に自信がある、暗記が得意、楽しいという方には「どうぞどうぞ！」と私は言えます。

単語帳をお使い下さい。楽しんでね。

よかったね。ってね。

でも、私のように根っから記憶力に欠陥のある(?)人間や、暗記をしようとするといらいらしかない人間にとっては、

ただの**英語嫌い増殖勉強法**である。と断言します。

中学校の英語教育は素晴らしいと改めて感じてますが、この単語を”機械的に”覚えるということだけは私は反対です。

じゃ英単語はどうやって覚えたらいいのか？！

――それは次の機会に。

まさかの、続く！ (だってながくなりそうなんだもん)

○本日のポイント。

英単語の覚え方に単語帳は要らない。

単語帳を使って覚える方法は、頭の良い、クレバーな方向けの勉強法である。

バカが英語を習得するには、単語帳を使わない方が近道である。

(補足：バカでも英語はしゃべれるようになります。それは今後説明します。)

2、言葉は自然に覚えられるわけ。

Underwear of the ogres is good under wear, Strong, Strong!

しろあです。

冒頭の和訳はまた後ほど。すぐに分かりますかね？

前回は単語を覚えるのに単語帳を使わないこと、という話をしました。
今回は「じゃ、どうやって覚えるのよ！」という話です。

そもそも私たちは日本語をどうやって覚えましたか？

生活の中で、自然と身につけていった……。
それは本当なんですけれど、それではあまりに考えが浅はかだと思えます。

ではもう少し細かく状況を分析しましょう。

- シュチュエーションがあった。
- ↓
- 何か表現しようとして誰かが言葉を発した。
- ↓
- それが理解されて、その要望に相手が応えた。
- ↓
- 「なるほど、そう表現すればいいんだ」と無意識に思い、
言葉がストックされていった。

おおよそその繰り返しですね。
だから文字は基本的には必要ないんです。
しかも意識的に覚えようとしなくても、覚えちゃうんです。
そのシュチュエーションが **”また今度自分にも必要かも”** と思えるものなら、
”これ、次回は使ってみよう” と思えるものなら、なおさら。
何も努力なく覚えてしまいます。

しかも恐ろしいことに、その時意味が分からず理解できなかったことも、
脳の中にはストックされています。
(後に出てきますが、これを私は”既知”と呼んでいます。)
ですから、また同じような状況が起こり、すぐに分からなくても、はじめて聞くよりも圧倒的に
「ああ、あれね」 と理解しやすくなり、かつ、さらに記憶しやすくなるんです。

それを英語に応用すれば、嫌でも、バカでも、誰でも喋れるようになるわけ。
簡単ですよ。

……簡単じゃないか。
だって、日本人は英語がとっても苦手で、あんまり日常の会話が英語でなされていませんものね。
あんまりどころか、皆無ですね。

かといって英語圏に引っ越しして生活する、なんてことはできません。

さて。そこで便利なのが”英語のテキスト”です。
文章です。

そもそも私はしががないただのアマチュア作家であり、アルバイトライター。
それでも文章に関しては人一倍の知識があるわけ。

言葉というのはそもそも具体的に表現する能力があります。
自分がリングが美味しいと思った時に、その気持ちを相手に伝えるにはジェスチャーだけでは難しいですよ。
言葉で表現した方が簡単で早い。

そんな言葉をいつでも確認できるように著し、記録したものが文章なわけですよ。

ですから文章をそのシチュエーションや、状況や、表現したい事などを展開することができるんです。

○ 目の前の状況 → <言葉で圧縮> → 言葉 → <文字に書いて著す> → 文章

こんな感じ。それがこうなると。

○ 文章 → <読解力で展開> → 目の前の状況

パソコンの圧縮、解凍みたいな性格が言葉にはあるんですね。

さて、いいところなんですけれど、長くなってきたので今日はここまで。
次回に続きます。

○冒頭の翻訳

鬼のパンツはいいパンツ、強いぞ、強いぞ！

～名曲ですね。

○本日のポイント

言葉は生活の中で自然と身につけることができる。

言葉は状況や気持ち、表現したい事を具体的に記録したもの。

言葉は展開して”状況”を再現できる。

3、英単語は文章から覚えましょう。

Would you mind giving love.

Wow wow.

Would you mind giving love, to me.

しろあです。歌の英訳ですが、なんの歌か分かります？

さて。英語圏で生活していない為、私たちは英語に普段馴染めない、
そのために英語力が発達しないという問題を、
今回は “違う角度” で書きました。
そしてそれを補うのが言葉である、と。

しかしここにも問題があり、言葉に頼りすぎるために、

英語 → 英単語を日本語にひとつひとつ直訳する → 学校で習った語順で並べ替える
→ なんとなく日本語としてこういう感じかな、という訳を作る

という機械的な読解をしがちになってしまいます。
どれくらいこれがナンセンスかは、英語のコンピューター翻訳機を使うとよくわかりますね。
また、英語の作文をするときに、どうも日本語の語順で英単語をあてはめて文章を作ったり。

ネイティブのひとたちは、もちろん日本語に翻訳して理解する、なんてことしません。
英語を聞き、そのまま解します。

私たちも目標としては、英語をそのレベルで解せるようになりたいと思います。
そうじゃなきゃ、ネイティブの発音で会話はできませんからね。

だから単語だけ一生懸命覚えたってダメなんです。
そして、そうやって勉強するのは頭の良い人、クレーバーな人、記憶力のいい人、頭の回転の良い人.....です。

そういう人は英語を “顕在意識” で攻略しています。
意識して頭の中で考えてるってこと。

そんな英語の勉強法では。
もう、はっきりいって疲れます。イライラします。

イライラしたら、勉強するのが嫌になります。
そしたら英語が嫌いになります。

ということで、学校教育は頭の良い方向への効率の良い英語教育ですが、
同時に英語嫌い養成教育になってるわけ。
外国の方々はあるに簡単に母国語プラス、英語ができるのにね。
残念です。

そこで、私が提案する英語の覚え方です。
覚え方、という言葉を知るとサブイボ（鳥肌）が立つという方は、
「英語を努力なくマスターする」と考えて下さいな。

その方法は！ 文章で英語を覚えるということです。
とにかく、英文を読みましょう。
そして、その英文で書かれている意味を理解するようにしましょう。
あわよくば、その意味を構成する単語に着目しましょう。
さらに余裕があれば英語の語順と、単語の言葉の区切りを意識してみましょう。

顕在意識ではなく、“潜在意識” —つまり無意識に頭に入れていくところがポイントです。
難しいことは自分（意識している、覚醒している心）で考えず、自分の奥の無意識にさせちゃおうと。
そもそも言葉はそうやって覚えるわけですからね。

はじめはふんわり理解することがポイントです。
ガチガチに分析しようとする、英語ではなく、数学の解を求めるのや、暗号解読と変わらなくなります。
言語というのはもっとほんわかしたものです。

今日も長くなってきましたね。

学校の英語教育批判は別でやろうと思ってたけど、つつい盛り込んでしまったから……。まあいいや。次は英語が必ずマスターできる話をする予定です。

○冒頭の翻訳

愛を下さい、ウオウオウ、愛を下さい、ズー。

ということで、「ZOO」でした。本当は「ズー」はそのまんまで良かったんですけど、それじゃ、面白くないので、「愛して下さい → 自分を」という意味合いがありそうなので、「to me」をもってきてます。
メロディにきちんとのるので良かったら歌ってみて下さい。

○本日のポイント

英語は文章で覚える。

その時に潜在意識に覚えさせるようにする。

イライラするような勉強法は、頭のよい方向への勉強法なので、そんな「悪い真似」はしちゃいけない。

4、英語を習得する最大のポイントは ”時間” です。

Grandfather went to the mountain to be swatted.

しろあです。あの有名なお話の冒頭ですね。

前は英単語を文章から覚える話をしました。

単語を単語のまま覚えるのではなく、文章の一部として、感覚でとらえていく、
ということです。
そしてそのひとつひとつの単語や、文章のニュアンスを、覚醒している意識（自分がコントロールしている意識）ではなく、潜在意識（無意識）に蓄積していこう。
そんな話をしました。

そしてその時に。
英文の日本語訳を一度、なるべくリアルにイメージしましょう。
文章から受ける日本語のイメージを、映像的なビジュアルのニュアンスにするといいかもしれません。
時に感情的な雰囲気を感じ取り込むのも悪くないですし、匂いや、色を思い浮かべてもいいですね。

バプロフの犬、という有名な実験がありますが、自分の脳に対し、似たような刺激を与えることが目的です。
一度文章をイメージ化し、それを英文を読んで「ああ、こういう状況が、この英文の意味することなんだ」と理解する。

それをいかにたくさんストックしていけるか、言葉を覚えるということは、実はそれだけなんです。

何も難しい構文や、テクニックは必要ありません。
だって赤ちゃんはそういう ”頭がいい人が考えた、分析して効率化した勉強法” なんて行ってないでしょ？
それに英語圏の方に 「前置詞を挙げて下さい」と聞いても、きっとみなさんは「What?」と返してくるでしょう。
前置詞や、過去分詞なんて覚える必要ありません。

あなたは日本語を聞き、大抵の日本語を理解できるはずですが。
そして日本語で会話ができるはずですが。
.....日本語で文章を書くのは苦手かも知れませんが。

日本語を覚えるにあたって、”形容動詞” が重要でしたでしょうか？
”助詞” が何か助けてくれたでしょうか？

私は小説を書きますが、国語の点数は中学の頃、30点ほどでした。（えっと、英語もそれくらいでした）
漢字を覚えるのが苦手（基本的に記憶障害ですから）でしたし、分析した文章の表現である ”体言止め” とか、”さ行変格活用”（最早、漢字があつてるとか、興味ないし） とか、訳わかんないので一切覚えてません。
ですが、並みの国語教師より、よっぽど人に伝わる文章を書くことができますし、一般の方よりはたくさんの漢字を知ってます。
また、幸田露伴くらいまでの文学小説なら笑いながら読んで理解できる読解力があります。

これはほとんど地で培ったものです。学校で習ったのではなく、

いわば、自然に身につけたものです。

そしてそれらを身につけるために要した最大の ”モノ” は、 **時間** です。

気が付いたら、いわゆる難しいと呼ばれるような小説を読めるようになっていた。
だったらば、英語だって気が付いたら理解できるようになるんじゃないか？！
それが私の英語勉強の第一歩でした。

事実、別に学校を卒業して英語を勉強してきたわけではありませんが、
気が付いたら中学3年間で習うくらいの英単語は大抵知っていました。
私は暗記が嫌いだったので、中学生の頃は英語の単語を暗記しなかったわけですが、
でも、覚えていた。

普通に生活している中で、日本の、これだけ英語に触れる環境が少ない中でも、
それでも英語が皆無ではない限り、少しずつ触れているわけで。
気が付いたらちょっとだけ英語力がついてたりするわけです。

ということは、もっと生活の中に英語に触れる時間を増やしていただくだけでも、あなたの英語力はどんどんアップしていく。

暗記する必要も、単語帳を繰る必要もないんです。

そろそろ長くなってきましたね。

今回はバカでも英語が喋れるようになる、というお話をもう少し具体的に詰めていきたいと思います。

○冒頭の翻訳

おじいさんは山へ ”しばかれに” 行きました。

もしかしたら関西弁でしょうか。「しばかれる」、というのは、「叩かれる、殴られる」という意味です。「お前、ええかげんにせんと、しばき倒すぞ!」というような使い方をします。関西では頻出する表現ですから、必ず覚えておきましょう。

って、原文は 「おじいさんは山へ柴刈りに行きました」 だった! 桃太郎の出だしですね。

正しい英語は、

Grandfather went to the mountain for gathering firewood.

「gathering」 は集める。「firewood」 は ”燃やす木” なわけで、薪とかそういう物ですね。

おじいさんは山に火を焚くための柴を集めに行った、ということで、

「for gathering firewood」となるわけですね。

おじいさんが山に行った目的は、”芝刈り”では無かったのです。

○今回のポイント

単語や文章は、イメージして潜在意識にストックしていこう。

英語を覚える最大のポイントは時間です。

英語に触れる時間を増やすことができれば、誰だって英語は習得できます。

5、バカでも英語はマスターできます！

Tirol, Tirol is 10 yen.

しろあです。

英語をマスターするための最大のポイントは **”時間である”** と前回はお話しました。

日本では、なんとなく英語をしゃべれる人って頭がいい、ってイメージがあるんですけど。

別に頭のよしあしに関係なく、言語というのは身につけることができます。

これは人間の基礎的な能力というか、生活適応というか。

かなり知能が低くても（……という、なんか辛くなってくるなあ）、きちっと会話ぐらいはできるようになります。

事実、成人した日本人で（すごく学術的な客観的な冷たい表現だな）、どんなにIQが低くても、

日本語がまったく理解できない！ という人はいません。

そういう方に会ったこと、ありますか？

まあ正しい日本語を使う、となると話は別です。

相手に伝わる文章を的確に書けるか、という話は別です。

テレビを見て、ある程度内容を理解する。

漫画を読んで楽しむことができる。

小説を読んで……理解できない人も多いか？ まあ本のレベルによるでしょうな。

小説は別にして、テレビや漫画はほとんどの人がクリアできるでしょう。

英語でそれくらいができるようになれば十分だと思いませんか？

論文が英語で書けるレベルを求めるとか、ネイティブな人と同レベルくらい英語のトークがうまくなるとか。

そもそもそんなこと求める必要はないと思います。

- ・相手が言ったことをだいたい理解できる。
- ・英語の文章がだいたい理解できる。
- ・生活に困らないくらいの表現（トーク）ができる。

これで十分じゃないですか。

そしてそれくらいは、どんなにバカでもできるようになります。

できるようにならないのは、絶対的な時間が足りないだけ。

だから、単純に生活に英語を取り込んでいけば、いずれ嫌でも、それこそ英語が嫌いでも覚えたくなくても！

できるようになりますよ。

”時間” というのはそれくらい、あなたの意思に反してあなたの能力を高めるパワーを秘めています。

話は逸れますが、「時は金なり」とよくいいますね。確かに時間をお金に変えることは出来ます。

空いてる時間に内職するとか、方法は様々ですが。

しかしその逆は不可能です。

与えられた一定の時間を、私たちは平等に生きていますから。

それを遡ったり、24時間を25時間にしたり。そんなことできません。

睡眠時間を削って、お手伝いさんに頼んで……。空き時間を作るのがせいぜいです。

話は戻ります。

先に話した通り、時間にはあなたが知らないような、想像を絶するパワーを秘めています。

その特徴を知り、利用することで、あなたの能力は大幅に伸びることでしょう！

ということで、その最も効率的な時間の使い方である **”寝る！”** という話を次回はします。

えっ！ 寝るのかよっ！

さてさて。なんとなく、次が気になる内容ですね。

お楽しみに！

○冒頭の翻訳

チロル、チロルは10円

バッハの名曲、「トッカータとフーガ」のイントロのメロディに、遊びで言葉をつけたものですね。覚えると言ってみたくなる言葉で、子供の頃に一度は口にしたことがあるのではないのでしょうか？

○今回のポイント

英語をマスターする最大のポイントは ”時間” である。

って、前回と同じだよ！

今回はバカでも、時間をかけることで嫌でもマスターしてしまう話の導入だけ。大切なのは次回の内容でございますよ。

6、寝ている間に英語力がアップする、“夢”のような話です。

It is good for a head when I eat a fish.

しろあ。

連想する歌はなんでしょう？ 私は基本、こんなレベルの英語力です。

まあまあ。冒頭の和訳は後においておいて。

今回は **夢** のある話をします。

あなたは毎日、夢を見ますか？

夢を見るのが好きな方も、特になんの感動もない人もいます。

また、夢は白黒に決まっている！ と思っている方もいれば、フルカラーで見ている人もいますね。

私は子供のころからフルカラーの夢を見ています。

そして、日によってその夢の解像度が違うことも最近発見しました。

ものすごくぼんやりした夢のこともあれば、驚くほど鮮明な夢をみることもあります。

鮮明な夢ほど、リアルに感じ、本当に夢だったのか？！ と思いかえして考えることもあります。

そんな夢ですが。

あなたは夢を見ている時、一生懸命にか頭を働かせていますか？

基本的に休んでいる状態が睡眠ですよ。だからぼけーっとしているのがほとんどだと思います。

しかし人間の脳は、実は24時間働きっぱなしで、夢をみている間もしっかりせこせこ働いてるんです。

眠っている = 休んでいる のは頭在意識、自分が考えている意識だけなんですよ。

また、その自分の意識がおぼろに覚醒している状態が夢を見ている状態とも聞きます。

ノンレム睡眠、というやつです。自分がコントロールしていないところの脳、無意識の部分が、せこせこ仕事しているのを映像でみる、感じ取っている状態です。

私は毎日夢を見ていますが、いつも無意識がせこせこ働いているのを監視しているのかも知れません。

そろそろ本題に入りましょうか。

前回 “時間” を有効に使おう！ という話をしました。

起きている時間になるべく英語に触れる時間を増やすこと。これがとても大切なのですが、

実はそれと同じくらい大切なことが、きちんと寝ることです。

なぜ大切か？

寝ている間に脳の中で記憶の整理をするからです。

あなたはこんな経験はないでしょうか？

新しい仕事をはじめて、はじめは覚えることばかりでなんか疲れるんですけど、

しばらくしたら、まったく苦にならなくなった。

必死で暗記したわけでもないのに、気が付いたら必要な知識は全部頭に入っていた。

必要なことですので、起きている間に反復行動し、自然と身につけているということもありますが、

それと同じくらい、いや、それ以上に頑張ってくれているのが寝ている時の記憶の整理です。

仕事が夢に出るくらい、というのは、その仕事の事を一生懸命考えていて出てくるもので、

私はよく資格試験の勉強など、新しく勉強し始めたものが夢に出てくる経験をします。

そして夢で整理された記憶というのは、割合きちんと覚えていきます。

テスト前の一夜漬け。確かに覚えられてテストではそれなりに点をとることができますが、

“寝てませんから”記憶の整理がなされず、テストが終わったらすぐに忘れてしまう。

よく聞く話しです。

逆に毎日少しずつ勉強していて、きちんと睡眠をとり、記憶の整理を行っておけば、

しっかりと知識は身につく、長く記憶が保てます。実力がつく、とかいいますよね。

もちろん夢を見なきゃいけない、ってことではありません。
夢を見るのは記憶の整理をしているところを、覗き見している感覚ですから。
夢を見なくてもきちんと脳は仕事をしていますのでご安心を。

夢に英語が出てくるくらい、英語に毎日触れられると、間違いなく実力はメキメキ伸びていきますよ。
頭を意識で考えるのではなく、潜在意識に英語を覚えさせるイメージ。
これが蓄積すれば、考えなくても英語が理解できるようになるんです！

次回からは英語学習の補助になる番組を紹介していきます。
基本、お金をかけずに英語を身に付けていきたいと思っていますので、ご安心を！

○冒頭の翻訳

魚を食べると、頭にいいのさ。

名曲、「お魚天国」のサビですね。
あなたの町ではまだこの曲が流れているのでしょうか？
テレビでさかな君を見かけるのでしょうか？（おっと、直接関係なかった）

○今日のポイント

起きている間、英語に触れる時間を増やしていく。
そしてしっかり睡眠をとり、記憶の整理を行い、潜在意識にしかと英語を刻みこむ。
そうすれば、考えなくても聞く（読む）ことで瞬時に理解できる生きた英語力を身につけることができる。

.....ほとんど関係ない話をしてた気がしたけど、まとめるとめっちゃ重要な話でしたね。

7、学習の為の、ざっくりとした時間の作り方。

「忙しくて勉強する時間がない！」というアナタ。
簡単に時間を増やす方法があるんです。

それは、**テレビ**を見ないことです。

しろあです。

われわれ現代人は、基本的にテレビ中毒になっており、
なにかといえばテレビをつける癖がついちゃってます。
そして空いている時間は、真剣であれ、片手間であれ、それで脳の興味、集中がひかれ、
気がついた時には「ああもうこんな時間だ」となっちゃいます。
ビデオならばCMとばして見るのですが、本放送を見ている間は、CMまでしっかりみてしまうことも
しばしば。
「CMも面白いんだよね」ってなものです。

私は高校を卒業してから、テレビのない生活に入りました。
仕事が忙しくてテレビ見る暇がなかったんです。……ゲームはしてましたけどね。

で、テレビをみないと、「こんなに時間が空くんだ！」と実感。
もし嘘だと思ったら、試しにやってみて下さい。
ものすごく「暇だ」と思うことでしょう。

え？ ニュースや天気予報を確認しなきゃ？
そんなのネットで十分です。

さて。このブログを読んでいるみなさまは、きっとテレビも大好きだと思います。
「俺はテレビ見てねーぜ！」という方は、どちらかというとエリートが多いので、
英語を学ぶ上で「テレビを見ない」と言っても「もうやってるよ！」と言われそうだし、
特に私がなにかれいわずとも、自ら英語を習得する力があります。

そういう方は、このブログは「なんかバカな面白い読み物だな」くらいで読み流して下さい。

このブログは私のように「英語が嫌い」「単語暗記嫌い」「でも英語喋れるとなんかいいし」「できる
ようになりたい！」と思っている、**基本バカな方**を対象にしています。

私は先生ではなく、同志です。ちょいとばかし、人よりも書くことがうまいくらいのバカでございます。
そんな気持ちで気軽にお付き合いいただければ幸いです。

さて。
これからはしばらく英語学習に役立つテレビ番組を紹介して参ります。

……って、今テレビ見るなっていったばっかじゃないの？！

これが不思議と矛盾しないんですね。
だって、あなた。一週間にどれくらいNHKをみてます？ みないでしょ。
テレビ = 民放 なのですね。
見た目は派手で楽しげなだけで、質の低い、時間ばかり喰う番組を作るのが得意なのが民放。

それに対し、見た目は地味で低予算だけど、質の高いよい番組を放送するのがNHKです。
私はそれを映画を通して気付きました。
まともに面白い映画をしっかりと放送するのはNHKです。残念ながら、最近はあまり放送してないみ
たいですけどね。

しかしNHKを見てるとなんとなく疲れる、とか。詰まらないんだよなあというイメージがあるかも知
れませんが。

それはそれ。見馴れてくると、**無駄がないソリッドな番組作り**をしていることに気付きます。
低予算でお金をかけず、派手ではない分、**芸術性が高い演出**が行われていたりするの、
分かる人には分かるポイントです。

しかしこれから紹介していくテレビ番組は、決してつまらない英語学習番組ではありません。
かなり気楽に見ることができますし、バラエティとして面白い。そして、きちんと勉強になる。
そんな番組を紹介していきます。

メニューはこちら！

- ・「おとなの基礎英語」
- ・「リトルチャロ」&「プレ基礎」
- ・「テレビで基礎英語」
- ・「しごとの基礎英語」
- ・「E-NEWS」

予定では5回分か……。これらの番組を紹介していきますよ。
お楽しみに！

○今回のポイント

勉強する時間がない？

ないんじゃない！ 時間は作るんだ！

その近道は！ テレビを見ないこと！ これだ！

(テレビ = 民放)

8、英語番組紹介①『おとなの基礎英語』

Win with ease!

しろあです。

あなたは坂下知里子さんというタレントをどう思っていますか？
ちょっと頭が足りないような、バカっぽい感じをもってませんか？

.....私は、そんなイメージがありました。

知里ちゃんは私と同年代で、昔からよくテレビで目にしていました。
元気で明るくてかわいらしい方なので、好きなタレントさんの一人です。
でも、ちょっとずれたことを言ったり、バカっぽい行動や話をしたりするので、
あんまり賢くはナイな。そう思っていたのです。

そんな坂下知里子さんがメインを務める英語番組が「おとなの基礎英語」です。
現在シーズン3、再放送中です。
.....すでに3年間放送し、もう完結しているんですねえ。

私が番組を知り見始めたのはシーズン3も終盤でした。
幸い終わったと思ったら再放送が始まり、今はシーズン3の頭からみている格好になります。

さて。番組の内容を紹介しましょう。

- ・今日のフレーズ紹介
- ・ミニドラマ（恋愛もの）
- ・今日のフレーズにちなんだ、他の表現を紹介
- ・そのフレーズをコント仕立てで実践。

まず、私が安心できたのが、知里ちゃんがメインであるということ。

知里ちゃんが英語と一緒に勉強するんだったら、気が楽だ！ と。

多分これは製作側の狙い通りじゃないかな？

そして知里ちゃんをサポートするのが陽気なジェイソンと、憧れのお姉さんといった感じのエイミー。
なぜか一人浮いてる英語の先生だけ、妙にまじめなおじさんに見えるのですが、
ちょこちょこギャグをいうので、慣れてくると特に気にならなくなります。（何がだ？）

番組デザインが女性的なイメージで統一。
英語のフレーズもさほど難しいものではなく、本当に基本的なものが多いですね。

私のように基礎を勉強していない人間には、とてもありがたい限りです。

冒頭で、ドラマの1シーンが流れ、日本語がでます。それを英語でいうと、何という？ という問題が出されます。
これが “今日のフレーズ” になります。
そしてそんな問題に知里ちゃんが挑戦しているのを見ながら、
「きょうこそは知里ちゃんよりも先に正解フレーズをだすぞ！」と意気込んで、
問題に挑んでしまう自分がいます。

知里ちゃんを失礼ながら、下にみて、「こいつには負けたくない！」と思いながら、
ライバル視しながら挑んでしまうんですね。

.....残念ながら、現在は負け越しですが。
そういう気持ちの部分でも、楽しく勉強できています。

ミニドラマは、.....内容は微妙ですがそれなりに面白い。
会話はもちろん英語。ネイティブな会話を堪能できますが、字幕は無し。
ですからはじめのうちは「何いってるのか分からない！」となると思います。

でも、それでいいんです！ わからなくたって、見て聞いているだけで、少しずつ英語力はついていきますから。心配は要りま

せん。

ドラマの後に、ポイントをジェysonとエイミーが教えてくれます。
これでなんとなく話の流れ、内容はわかるでしょう。

簡単すぎる英語番組になっていないのは、このドラマがあるからだと思います。
けっこう上級者でも勉強になるんじゃないでしょうか？

1本10分、週間で40分の映像学習ができます。
もちろんはじめからでなくとも、途中から見たって十分勉強になるので、参考にしてみてくださいね。

○冒頭の翻訳

楽勝！

“ease”は“楽ちん”というニュアンス。
「楽ちんに勝てる」 → 「楽勝！」ってな感じですね。
ここで“with”が挟まれているのがポイントです。
何で？と考えず、他のwithの使用例を蓄積して、

ニュアンスを感じとって理解する！ということがとても大切です。

○今日のポイント

知里ちゃんをライバル視して、
負けじと英語を頑張れる、そんな構成の英語番組です。
海外トラベルを考えてる方に役立つでしょう。そんなフレーズも多いです。
女性向けの構成ですが、男の子でもきちんと楽しめます。

9、英語番組紹介②聞き流しに最適?! 『リトルチャロ』 & 『プレ基礎』

「 Kind 」 を訳せ。

しろあです。

簡単ですか? 本当でしょうか。

私は昨年までは「親切な」とか。そういう風に答えていたでしょう。

しかし、今ではそう答えると「間違いではないが、むしろ希少だ」と感じ、

「種類」と答えますね。

単語帳で機械的に英語(テスト対策の英単語)を勉強する人は、

こういう英語のリアルなニュアンスでひっきりが生じ、結局英訳が出来なくなるんじゃないでしょうか。

例えば子供がはじめて猫を見た時、こんな風に語りかけたら。

This animal is kind of cat.

この動物はネコですねえ。って感じ。

もし、「親切」で覚えていると、「この動物は親切な猫です」というワケのワカラナイ誤訳になっちゃいます。

だから単語帳的な機械的な単語の覚え方はダメなんですヨ。

ニュアンスや、前後の状況が入った文章で覚えなないとけないんです。

思った以上に前置きが長くなりましたが、

そんなニュアンスを鍛えていくために有効な番組を2本、今回は紹介しましょう。

『リトルチャロ』。英語のアニメ番組です。

子犬のチャロが主人公の物語です。ストーリーはどうしようもなく詰まらないんですが、

英語はネイティブですし、表現もネイティブなものが多いので勉強になります。

ネイティブですが、スピードはそこそこ。慣れると聞きとりやすいです。

日本語字幕がが付いているので、内容が分かりやすいのですが.....。

字幕ばかり追っていると、脳は「日本語モード」になり、折角の英語をバリヤではじいてしまうので、

内容が分からなくても英語だけ意識するようにしましょう。「英語モード」で視聴することがポイントです。

先に言った通り、内容はたいしたことないから。

どうしても内容が気になったら、2回みればいいじゃないですか。

現在シーズン4が放送中。一週間に10分。それなりに人気のある番組なんだろうね。

続いて、『プレ基礎』。

小学生5、6年生を対象に、中学からはじまる英語の基礎の、事前準備に見る番組です。

だから、「プレ基礎英語」。

” プレ ”、というのは英単語の前につくことで ” 事前に ” というニュアンスが付加されます。

パソコンや電化製品で、はじめに設定されている状態を 「プリセット」 といいますね。

これも ” プレ ” の仲間です。覚えておくと、損はないですね。

『プレ基礎』の内容を紹介しましょう。

寿司タウンに住む少年、「ツナ」(マグロのにぎり寿司です)が主人公。

お寿司にちなんだキャラが登場、基本的にバカな事件が起きるドタバタギャグです。

「リトルチャロ」と違い、アニメ部分では字幕は出ません。

これくらいがちょうどよいでしょう。

英語のスク립ト(脚本)は簡単なもので、聞き取りも理解もしやすい。

しかし発音はネイティブなので、日本語英語に慣れていると「?」と思うこともしばしば。

例えば「castle」。日本語では「キャッスル」って言ってしまいがちですが、

ネイティブでは 「カソー」 って発音した方が近い。

とても勉強になります。

そして。

早口言葉や英語の童謡（マザーグース）の紹介、
日本で活躍する人が英語で自己紹介するコーナーなど、内容も充実してます。
先日は元ファンキーモンキーベイビーズのケミカルさん（だったよね？）が、
「アイアムモンク！」と言って登場しました。

一週間に1回、10分の番組です。

こういう番組を利用し、
楽しんで英語を学びましょうね。

10、英語番組紹介③初心者にありがたい、基礎の基礎『テレビで基礎英語』

If there is a dinosaur, I want to work as a dancer on a ball.

しろあです。

どうでしょう？ 訳せました??

例によって有名な歌の一節でございますよ。

さて。今日はNHK英語番組第3弾。

お笑い芸人の小藪、まえだまえだと共に、アイドル？ のくみっきーが出ている番組、

『テレビで基礎英語』です。

先生は関西大学の、（恐らく）野球部の先生。

自分の英語の先生がこの人だったら、きっともっと英語が好きになってたろうな、と思うくらい素敵な先生です。

ロマンスグレーでカッコいいんですけど、背が低くて親しみやすくて。

いつもにこにこしており、英語でバカな表現をしても笑ってフォローをしてくれます。

それでいて、しっかりとピシッと背筋の通った英語の基礎、コツ、根本の部分、

とても分かりやすく表現し教えてくれます。

私のような基礎がすっぱり抜け落ちている（根本的に、そこがダメだよ）英語学習者にとっては、本当に、とてもとてもありがたい番組です。

本当は学校に通ったり、かったるい英語の本を読んで学ぶところなんでしょうけど、基礎はないくせになまじっか英語がわかる気がするもんだから、

「へん！ 初心者用の教材なんてやってられるか！」と意地はっちゃうんです。お金もかかるし。

ということで、たのしく英語の基礎を学べるこの番組は、とても重宝しております。

おそらくこの番組を1年間みておけば、中学生の英語は楽勝じゃないでしょうか。

さて、番組の内容です。

基本的に英語で遊びながら英作文をします。

今回行う英作文の語順を紹介し、それを関西大学野球部員が実践。

それを参考にタレントが英作文をゲーム感覚で行うというもの。

とても簡単で、しかし、しっかりとした基礎の部分なので、復習にも、理解度を高めるのにも役立ちます。

そして、身につけやすい。

関西大学というのは結構頭がよかった記憶があります。私の友人も行ってましたね。

その大学生でも、こんなぐずぐずの英語力なんだ、と思うとほっとします（笑）。

閑話休題。

英作文ゲームが終わったら、今度はフラッシュアニメが流れます。

シュールなギャグ、日本語字幕無しで、決して簡単ではない英語が使われています。

私も半分ほどしか理解できません。

英語の内容はよいのですが、話の内容はどうしようもなく、ダメダメです。

リスニングの勉強だと思って聞き流しましょう。

そして再び英作文ゲーム。

先生とタレントが登場します。

前半の内容をおさらいしつつ、さらに少し発展した使い方などを紹介したりします。

最後は小藪の映画紹介。

テーマになっている言葉（これはフラッシュアニメと連動してます）が出てくる映画を見ます。

「ああ、この言葉は実際に映画のセリフに出てくる言葉なんだ！ 俳優が使ってたんだ！」

という感動もありますし、実際に使えるフレーズであることも実感できます。

いいコーナーですね。
小藪の英語ギャグも少し出てきますので、それも楽しみのひとつ。

まえだまえだは子供で、英語勉強中。
くみっきーは英語が苦手で大人になったって感じ。
小藪はそこそこ英語できたで～！ という雰囲気です。

そんなメンバーでの英語学習番組なので、すごく気楽なのがいいですね。
子供と一緒にみるのも楽しいのではないのでしょうか。

毎週1回 20分の番組ですヨ。

○冒頭の翻訳

恐竜がいたら、玉乗りしこみたいね。

名曲「チャラ、ヘッチャラ」の歌詞の一部ですね。ドラゴンボールZのオープニング曲だったと思います。
子供の頃この歌を聞きながら、「たまのりしこ」ってなんだろう？ って思っていました。
「たまのり・しこみたいね」ではなく、「たまのりしこ・みたいね」と区切って考えてたんですねえ。

もしも英語で「want to work as a dancer on a ball」って表現してくれてれば分かったのに。
.....って、**わかるか！**

1 1、英語番組紹介④グラマーが好きですか？ それとも.....『しごとの基礎英語』

私はグラマーを求めています。

.....私はあくまで、実践的に英語を勉強したいと思っています。

しろあです。

グラマーと聞いて、なんかムフフな想像（原田宗典的な表現だな）をした方。

もう、エッチですねえ。

グラマーって言っても、セクシーなスタイルのよい女性の事じゃないんです。

そういう表現としてはグラマラスになるんですかね。私も確認してないのでよくわかりませんが。

グラマー（Grammar）っていうのは “正しい表現” といったところでしょうか。

例えば日本語で説明すると。

①昨日、魚釣りに行ってるところでしたが、そばで蕎麦を食べてる人が頭を打って、今、救急車が側道走って、楽しかったです。

明らかに怪しい、おかしい文章ですね。こういう文章はグラマーでないわけです。

グラマーな文章は、

②昨日魚釣りに行って楽しかったです。

そうそう、先ほど驚いたんですが、昼を蕎麦屋に食べに行ったら、そばにいた方が頭を打って救急車を呼んだんですよ。

救急車は近道のために側道を走って蕎麦屋に向かったようですね。

こんな感じになります。

②の例文が話のあらましとしましょう。①の例文は話の前後が入れ替わったり、分ければいいのに一緒にくたにしてしまっているため、わけが分からない文章になっているわけ。

子供の話を聞いてると、近いものがありますね。

そして私たちが英語を勉強して、一生懸命話したところで、割合とんちんかんな英語になっていることがしばしば。

ネイティブの方たちは「なんか変な英語使う人だなあ」と思いながら、こちらの言葉を “察して” 理解しようと努めてくれるということです。（大西先生談）

グラマーな表現をしようと思うと、やはりそれなりに経験を積んでいかないといけないなあと思うのです。

そんなことを実感する番組が『しごとの基礎英語』。

ご紹介している中で、私が最も好きで面白いと思っているNHKの英語番組です。

内容を紹介します。

篠山輝信（しのやまあきのぶ、通称・アキ）が、ビジネスを題材にしたミニドラマに挑戦。

アキは脚本なしで場の空気を読んで演技をします。

もちろんオフィスでの会話はすべて英語。

そして問題が発生し、その解決のためのフレーズをアキが英語で答えるというものです。

アドリブで、次に何が起きるか分からない状態での演技の為、物凄くよそよそしく違和感があることと、英語が堪能では無い中で、無理やり英語を捻りだすところが、すごくつらそうに笑えるんです。

上司が言えいいことや、自分ではいいにくいことなど、必ずアキに話が振られ、言わされる。

毎日がムチャぶりで、いつも泣きそうになりながらつらそうに英語で答えているアキが笑えます。

それだけじゃありません！

ドラマが終わると、スタジオに戻り、そのアキが言った言葉が果たして通じる英語であったのかどうか？

ジャッジが下されます。

「晴れ」、「曇り」、「雨」.....そしてあまりに酷い時には「雷」。

続いて正しい、通じる、気のきいたーつまりグラマーな英語表現を教えてもらいに、

大西先生の所に行きます。

ジャッジで「晴れ」が出ても束の間、大西先生は「つまらん」とか「残念だ」とか。
最近ではほぼほぼ駄目出しししかなくなっており、そこでさらに落とされるアキが笑えます。

大西先生が教えてくれるフレーズ。
またそのフレーズに含まれるキーになる単語の解説は、とても勉強になります。
現在セカンドシーズン（101話～）ですが、大西先生は「ストックフレーズ」という表現をするようになりました。

言葉を暗記するのではなく、心で理解する。
心にしっかりと言葉をストックして下さい。
そして必要な時に、日本語が先に出るのではなく、フレーズがさらっと出てくるように。

そう、大西先生は語るのです。

またこの番組の魅力は、英語だけにあらず。
英語の言い回しは、結局はビジネスのシーンで使われる、相手へ配慮した言葉使いなので、それをきいているだけでもビジネスマナーが学べます。

社会人として、基本的に知っておきたいビジネスマナーが学べます。

部下への自己啓発に「この番組見とけ」と言ってもいいかもしれませんね。

また、スタジオでアキの補助としてホラン千秋さん（何やってる人？）と一緒に出ております。
セカンドシーズンからホランさんに変ったのですが、ホランさん、はじめはずいぶん緊張していたんですヨ。

私なんかの英語力では力不足でこの番組に迷惑かけるんじゃないかしら？

そんな雰囲気があったのも1週目まででした。
あまりにもアキがぐずぐずだったために、ホランさんのアキを見る目がどんどん上からに変化。
今では完全に見下してます。その雰囲気も笑えます。

ワールドワイドなビジネスに詳しい、とても肉感的なやさしいルーシーさんも魅力的です。
とてもやさしい方で、どんなにバカなアキの回答でも、やさしく受け止めてくれます。
ルーシーさんがいなければ、ホランさんと大西先生の毒舌にアキは逃げ出すのではないか?! と思うくらい。

こんな絶妙なバランスと個性の4人が集まって展開する、本格的な英語学習番組。
毎回笑えて、時折、ちょっと泣けて勉強になるので、是非一度録画して見てみて下さい。

この番組は、英語嫌いな方でも、一度はみておいた方がいいと思います。

本当はドラマ部分でも語りたい事がかなりあったんですけど、流石に長くなるので割愛です。

週に4回、10分間の番組です。
「おとなの基礎英語」の裏に隠れているので、ちょっと探すのは大変かも知れません。

12、英語番組紹介⑤新聞よりもわかりやすい世界のニュースを『E-NEWS』

新聞を読む時、政治欄と世界情勢の欄はつまなくて読んでないんです。

しろあです。

社会人として新聞は読んだ方が良く、ということですが、なかなか新聞を読んでも面白い記事とそうで無い記事があり、また、役に立つ記事と立たない記事があります。

政治欄はある程度今後の法改正の動向を知る上でも大切ですが、総理がどうだ、どこの政党がもめてるだ、くだらない記事が多いので読むのが疲れます。世界情勢の欄に関しては別の言語で語られているかのように、書いている意味がわかりません。どうやら戦争が起きているらしいとか、どこかで人種差別が起きているとか。その記事のバックボーンになる情報が乏しいために、まったく理解できないんです。

そうそう、私は学生のころ、英語は30点くらい。国語も30点くらい。社会も30点くらいでした。

.....完全に落ちこぼれ生徒やな。

ですから世界情勢をテーマにしたニュースというのは私には理解できないものだと思ってました。

ところが。もともとは英語の勉強で見始めた「E-NEWS」という番組ですが。世界のニュース、トピック（話題）を取り上げるのですが、英語の解説はもとより、その事件や出来事の背景も非常に丁寧に説明してくれる為、とてもよく分かるんです。

まるで、はじめて池上彰さんの「こどもニュース」をみた時みたいに！

そういう意味では英語学習だけではなく、世界のニュースを毎週チェックするためにもこの番組を利用してもいいかもしれませんね。

番組紹介です。
NHKのワールドニュースが、世界向けにあるようですね。
英語のニュース番組なんですけど、
その中で取り扱われた旬の話題をピックアップして、字幕付き（英語）で英語の聞き取りを練習できる番組です。

ネイティブであり、脚本ではなくニュース記事を読むアナウンサーの語りの為、「しごとの基礎英語」や「おとなの基礎英語」ほどやさしくありません。
また、ニュースの中心人物のコメントがそのまま、その人物の言葉で紹介されており、これに関してはトレーニングした発音、発声ではないため、癖があったり、聞き取りにくかったりします。

そういう意味で、非常に実践的なリスニングの練習になる番組といえるでしょう。

そして、先に申しました通り、ニュースの内容をやさしく解説してくれるため、内容もきちんと理解できてただ見て疲れるだけの番組ではないのが救いです。

スタッフは世界情勢に詳しいおじさん（なぜか理科的な知識も豊富であなどれない）と、メインのキャスターとして若い女性、吉竹さん。
英語の解説用のおばちゃん、鳥飼先生（ときどきおじさんが登場する）、そしてコメディアンになりかけてなれなかったような外国人の方がネイティブスピーカーとしてサポートしています。この外国人もときどき交代します。ひとは面白くて、やさしくて好きなんですけど、もうひとはテンションが低く、暗い印象があります。いい男なんですけどね。

ですから、英語解説のおじさんとテンション低い外国人の回に当たると、はずれを引いた気持ちになります。

そして大当たりとしてはごくまれに “デーモン小暮閣下” が登場します。理由は謎です。

デーモン閣下も英語が結構できますし、番組内でもっとも英語が苦手そうな、若い女性キャスターでも、

クラスで一番英語できたよ！ といった感じの賢そうな女性です。

実際、結構聞きとってますし、振られたらきっちり英語で答えることができ、明らかに「しごとの基礎英語」のスキよりはレベルが上です。

そういうことで、ちょっと英語初級の方には難しい番組ですが、わからないなりにみてもみただけで、リスニングの能力が付きま
すし、英語力を高めるための栄養は十分に取り入れていくことができますでしょう。

っていうか。英語のテキストをやっていたんじゃ身につかない、実践的でアグレッシブな英語はこういうところで身に付けてい
くべきだと思います。

ですからはじめは大変に思っても、気楽な気持ちで毎週見てみることをおすすめしますよ。
私もはじめは凄く疲れましたが、今は楽しみながら見ることができます。

脳が喜んでるのがわかります。ストレスフリーですね。

着実に聞き取りできるようになってきますし、字幕も追うことが（ネイティブレイトのスピードに合わせているため、字幕もぱっ
ぱ変わるのである）できるようになってきました。

このスピードに乗って、そのまま内容まで理解できるレベルに到達すれば、まあまあ英語できると言ってもよいレベルかもしれま
せんね。

1週間に1度、20分です。

〇おまけ

やさしい外国人のおじさん。
どうしてやさしいと思うのか？ というと。

重要なニュースのフレーズをピックアップして、それをネイティブな発音で紹介するのがおじさんの仕事なんですよ。
ニュースではすごく速くて聞きとれないんですが、おじさんはゆっくりと発音してくれます。
しかも、その英語のフレーズを発声する前に、

「これからゆっくりしゃべるからね。むずかしくないよ、頑張って聴きとってね」

など。必ず私たち英語修行者へ、やさしいコメントをしてくれるんですヨ。

もちろん、英語で！

だから、是非このおじさんのやさしいコメントが聞きとれる英語力を身に付けていただきたいと思います。
なんか、ほっこりするんですよね。おじさんのこのコメントを聞いてると。

〇おまけ2

世界情勢と政治欄はつまらないと書きましたが、
新聞にはとても面白く、ためになる欄があります。

それが経済と技術の欄です。
経済動向をつかんでおくことは、むしろ一面を読むよりも重要でし、
あたらしい技術革新の話はワクワクします。

今、ノーベル賞で盛り上がっている青色発光ダイオードの話題ですが、
高校生の頃（約20年前）の技術欄を読んで発見した時、
物凄くテンションが高くなって興奮したのを覚えています。

それが今では、ですからねえ。

ところでその当時衝撃を受けた技術で、
「絶対に濡れないガラス」があったんですが、これの実用はどうなったん？

13、英語習得には文系が有利か？ 理系が有利か？

Is it physical science to turn to learn English? Or is it a faculty of liberal arts?

しろあです。

なんかしっくりこないなあ。
これがコンピューターの限界でしょうか。
冒頭の英文は

” 英語を覚えるのに向いているのは、理系ですか？ それとも文系ですか？ ”

をWeblioを使って英訳させた文章です。

さて。あなたはこの答えについて、どう思いますか？
いやいや、コンピューターの英訳ではなく、英語に向いているのは文系か理系かについてです。

結論を申しますと、基本的に**理系の方が英語が得意**な方が多いようです。

意外でしょ？ そうでもないですか。

英語は語学だから、語学といえば文系だから、文系が得意なんじゃないかって。
実際、

英語と日本語はまったく違いますから、いくら日本語が得意でも英語が得意にはなれませ
んね。

構造が違います。マッキントッシュとウィンドウズくらい違います。
ハリネズミと、ネズミくらい違います。
ウスバカゲロウとうすらバカ下郎くらい違います。（おい！）

ですから日本語がいくら得意でも、その延長線上で英語が得意になるわけではないのですな。

ところが。
数学と英語は似てるんです。

意外でしょ？ そうでもないですか。

実際、数学で凝り固まったようなコンピューターのプログラミング。
英語で命令文を使ってコンピューターを制御しよう！ というのが高級言語と呼ばれるC言語。
その元となったBASIC言語というものもあります。
私はこれでプログラムを勉強し、なんとなく英語が分かるようになったわけ。

ですから数学と英語は割合近い関係に私には感じるんです。
少なくとも日本語よりは英語に近いですね。

また、想像して下さい。

村上春樹が英語でスピーチしていると、「やっぱ作家さんは頭がいいんだよね」と思いますよね。
まあ村上春樹は若いころから英語が得意で、処女作の「風の歌を聞け」も、はじめは英語で書いてた、
みたいな逸話を聞いたことがありますし。

ところが。
科学畑の方がノーベル賞を受賞し、スピーチしているのを聞くと、ほぼ英語ですよ。

すらすらと。当たり前のように。

多少、言葉がシンプルだったり、スピーチのスピードが遅かったりはありますが、
きちんと英語で話してます。すごいですね。

最近のニュースでもさんざんみたと思いますけれど、理系の学者さんはみんな同じですよ。

英語は当たり前に喋れます。

なんで理系の方が英語が堪能になるか。

実は数学と英語が近いだけではなく、実際に英語の資料に触れる時間が多いからではないでしょうか。

新しい技術の資料を確認しようと思ったら、だいたい英語です。

私も仕事でCPUのマニュアルを見ることがありましたが、先輩から日本語訳版と、英語の原版を渡されて使っていました。

「日本語訳の方は、変な訳になっていて意味が違っていることがあるから、原文の方で確認が必要なんだよ」

高卒であり、中学のテストでは英語30点だった私には実に酷な話でした。

が、それが理系の職場、特に開発関係となれば当たり前の日常なのです。

まずは実際に使う専門用語から覚えていくのですが、英文に目を通しているうちに、だんだんなんとなく英語が分かるようになるんですね。

私レベルでそんな経験をしたわけですから、私の上をいく技術者の方は、もっともっと英語に触れています。

そして、外国の商品を使用したり、取り引きしたり。そうなってくれば、英語でコミュニケーションをとる必要が出てきたりして。

つまり、英語を使う環境は理系の方がはるかに多く、習得しやすい環境といえるのです。

.....そんなことを書いてきましたが、これはあくまで私の持論です。都市伝説くらいの気持ちで読んで下さい。

そして誤解の無いように書いておきますが、私は理系と文系で分けるのが嫌いです。こと、「自分は文系だから」と言って数学や理科的な勉強をおろそかにする人が大っきらいです。

なぜなら、文系の人だって数学的な知識が必要だから。

実際、小説を書く、文章を書く上で数学の知識は非常に**重要**です。

これは私の持論ではなく、三木清が明確に本に書いていますので、間違いない事実ですし、私自身も実感していることです。はい。

だから、自称文系の方。しっかり数学も勉強しましょうね。中学レベルくらいは。理系と呼ばれる人たちだって、結構な量の本を読むし、英語だって文系の方より得意なくらいなんですから。

○今回のポイント

英語学習に必要な情報は、特になし！
今回はコラムやね。

14、英語を覚えるために、いっぱい聞こう！ いっぱいつばやこう！

” もろびとこそりて歌いまつれ ” を英語にしてみたよ。

A song will celebrate all together.

しろあです。

英語の歌では「Joy to the world ~」という歌いだしかったと思います。
冒頭の英訳は歌のメロディは無視した日本語の意識ということです。
解説はまた後ほど。

さて。
日々英語力が高まっている私ですが。
半年ちょっと英語を勉強してきて、実感するのが「聞くことって大事だな」ということです。

英語の教科書や参考書だけで英語を覚えようと思っても、絶対ネイティブな発音を聞きとることができませんし、
話すこともできないじゃないですか。

ちょっと話は横道に（さっそくかよ）逸れますが、
単語を覚える時に、発音記号とか覚える人いるじゃないですか。
あれは本当にナンセンスですよ。頭の容量がたっぷり空いてる方が、その余裕の中で覚えるんだったらいいですけどね。
単語を覚えるのに、スペル、訳語、発音記号をセットで覚えると、何が何やら大変。
それで中学の時は私、単語覚えるの嫌になったんですよ。

発音記号が出てきた瞬間、「これは覚えないようにしよう」と心に決めました。

アクセントの場所とか、そこまでやってるとどれだけ時間がかかるんだろう？

そう思ってたんです。
でも、やっぱり。

覚えなくて良かったんですヨ。よかったね。（← 自分と、自分と同じ境遇の方へ）

発音記号、アクセントは覚えなくてよい。
その分、ネイティブな発音を聞いて、それを実際に発生しながら「耳と口」で覚えればいいんです。

机上で覚えようとするより、圧倒的に簡単で、確実に覚えられます。

場合によっては「アプリシエイト」という単語。スペルは書けませんし、発音記号とかみたことないけど、

私、聞きとれますし、言えますから。

ちょっと長めのスペルだから、文章上で出てくると「難しい単語だ！」って思う曲者だと思いますけどね。
聞いて、言っているとやっていれば、簡単に覚えられます。

本当、聞くことって大事です。
言葉というのは書いて覚えるものではなく、会話をして覚えていくものだとすることを改めて感じてます。

そしてやはり、単語だけではなく、文章を聞き、読んでいくことが大事。
今回は単語に関して話しましたが、次回は文章を聞くことについてお話します。

お楽しみに。

○冒頭の翻訳

” もろびとこぞりて歌いまつれ ” を英語にしたわけですが。

そもそもこの ”日本語” をあなたは理解できていますか??

もろびと = みんな 漢字では ”諸人”

こぞりて = 一緒に 「こぞって参加しましょう！」 とかいうでしょ。

(歌い はいいでしょう。)

まつれ = お祝いしろ 上から目線な表現ですね。

ということで、

” みんな一緒に歌って祝おう ”

というのが ” もろびとこぞりて歌いまつれ ” の意味になります。

そしてその文章を weblio で機械翻訳してみたのが冒頭の英文です。

シンプルで気の利いた訳になってると思います。まったくメロディに乗らないのが残念ですが。

そこかしこで聞える「もろびとこぞりて」。意外と意味が分からずに聞いている人って多いんじゃないですか??

15、レベルアップを実感できる！ 文章を聞いて、効果的に英語力アップするコツ！

どっかの英語教材みたいなタイトルだな。
ああ、いやだいやだ。

もっとふざけなきゃ。

しろあです。

言葉というのは机上で覚えるものではなく、本来は実践的に覚えるものなんだな。
そんな話をしました。
けれども実践的に英語を体験するにはお金がかかったり、そもそもそういう境遇が縁遠かったり。
そんなかたはやはり机上で勉強していくことになります。

私が提唱するのは、机上かもしれませんが、実践的に勉強しよう！ ということ。
勉強という言葉をきくとジンマシンが出る方は、英語で遊ぼう！ と言ってもいいです。

とにかく英語でストレスを感じないようにして下さいね。

.....ここまでが序盤から私がお話してきたことですね。

今回は文章を聞くコツについてお話しします。

先に言っておきますが、聞き流しじゃダメです！

スピードラーニングってありますけど。
テキストもないし、覚えようとしなくてよくて、ただ、CDを聞き流すだけ。

石川遼君がこれで英語ができるようになったとか。

勘違いしないで！ 石川プロは海外によく行くでしょ！

つまり実践的に英語力を培ったわけで、スピードラーニングが手助けしたとすれば、
それを補助したに過ぎません。

冷静に考えて。

ただ聞き流すだけでいいんだったら、映画を字幕で聞いてるだけでも英語力がついておかしくないでしょ。

わたし、1000本以上、トータル3000時間以上は洋画みてますけど。
(そういえば、このブログはそもそも映画が主体のブログでしたね。忘れてたわ♪)
結局「英語、しゃべれんわ～。ききとれんわ～」というレベルです。

.....パソコンのおかげで英文はなんとなく読解できますけどね。
(この辺の詳しい話しは今までの記事を復習して下さいね)

文章をただ聞くだけではダメ。
じゃ、どうしたらいいの？ ということですが。

文章の意味を理解しながら聞く。これが答えです。

言っている英語が、何を語っているのか。
ひとつひとつの単語が何を意味しているのか。
それを理解しながら聞きとることが大切です。いや、本当に大切です。

しかしそれを助けてくれる気の利いた教材はなかなかありません。
教材という言葉でジンマシンが出る方は、サンプルと言ってもかまいません。

そこでひとつ提案としては、

気に入った英語の歌を覚える！ ということ。

メロディによって英語を聞きとる。
好きな歌なので、苦になりません。
繰り返し聞きますから、自然と反復練習になります。

さらに、対訳がついていれば、その意味を意識しながら聞く。

まずはだいたいの意味でOK。
大体の意味がわかり、その英文を理解してきたら、
こんどは単語、熟語レベルに細分化して理解していきましょう。

一曲コンプリートするだけでも、結構勉強になりますよ。

それをたくさんこなせば、英語力は着実にアップします。

聞いたことありません？

「俺、ビートルズで英語勉強したぜ」

ミュージシャン、あるあるです。

さて。今回はより実力をつけるための具体的な教材を紹介します！
もちろん、無料ですよ。

16、楽しく確実に実力をつける外国人向け番組『ESL』

アジア諸国で、日本人ほど英語が苦手な国民はいない気がします。

しろあです。

じゃ、なんで他の国の方々は、母国語と一緒に英語が普通に喋れるのでしょうか？

まあ、こまかくいうと。ネイティブではないので、カタコトといえなくもないですが、

そのカタコトさ加減が日本人とはまったく違います。

英語が得意でいい点とっていた方ですら、私が聞いていても分かるくらい「中学生かよ」と思うような英語で喋ってますよ、日本人って。……私はもっと喋れないけどね。読めるけど。

私が思うに、学習の仕方が全然違うのではないのでしょうか。

もちろん環境も違い、日本以上に普通に英語に触れる機会が多いというのも大きいと思いますけれど。

じゃ、日本式の“秀才向け”、“学校で点数をとるため”の非実用的な英語学習ではなく、

世界中の方が母国語の次に学ぶ世界共通語として英語を学ぶ方法を実践すれば、

日本人も英語が喋れるんじゃないかー！？

ちょうどいいのが、あったよ。

ロスアンジェルスはカリフォルニアでポッドキャストを無償で提供する『ELS』という番組です。

「イングリッシュ、アズ、エイ、セカンド、ランゲージ、パッキヤース」と冒頭で流れる通り、

英語を第二の言語として学ぶために提供された英語学習用のポッドキャストです。

ちなみに「パッキヤース」はネイティブな聞き取りをカタカナにしたもので「ポッドキャスト」のこと。

～～いかに日本語(カタカナ)で英語を学んでも意味がないことが分かりますね。

毎週2回ダイアログ(対話文)が更新され、そのダイアログをまずはスロースピードで朗読。

その後、そのダイアログの解説が入り、最後に“アツタ、ネイティブレイトオブスピーチ”、ネイティブな発音で聞くことができます。

英文を、アメリカ英語(イギリスではない!)の発音で存分に聞くことができるということと、

きちんと文章の解説が入っているので、文章の中で分からないことや、補足すること、特殊な言葉や言い回しに関して学ぶことができます。

もちろん、解説も英語ですけど。

英文を目で追いながら、聞くことができる、というのが最大の特徴です。

そんな英語の学習本を買えばいくらでも……というかも知れませんが、

お金がかかるし、買った本では、買った本の内容だけしか学ぶことができませんよね。

同じ例文を繰り返し勉強するのも悪くないですが、

どんどん新しい例文で学んでいった方がフレッシュで楽しいし、実は実力がつくんです。

ここでの実力は、勉強ができるようになる、テストの点が上がるという意味の**実力**ではありません。

私のいう実力というのは、

英語力を潜在意識レベルでアップさせるための、栄養が蓄えられるということですよ。

咄嗟の時に出てくる表現、それにはこの潜在意識レベルの英語力が大事です。

そういう意味では実践的な実力がつくと考えて下さい。

すでに1000本以上のアウトプットがあり、現在も新しいダイアログが更新され続けています。

ダイアログの内容も多岐にわたり、経済的なもの、政治的なもの、ドライブでの話題、病院での話などなど。

それぞれの場面で使う活きた英語を、専門用語をふんだんに学べます。

より実践的ですよ。

そして。

この『ESL』(English as a Second Language podcast)の最大の特徴は、

とにかく、内容が面白い！ ということです。

たいていのダイアログは、きちんとオチがついてますし、解説（ドクターマクラレンが行っています）に関しても、いつも話が脱線しておかしな話をしています。また「例えば」の単語の用例を語る際もユーモラスで笑える話をしてくれます。

ふと思い出すだけでも、「Bee life」という熟語の説明は笑いました。

もちろん、すべて英語で喋ってますけど。（日本向けではなく、「世界向け」ですから）解説に関しては英文は無しです。有料で読めるみたいですけど。

はじめはちんぷんかんぷんでしょう。いいんですよ、それで。私も徐々に聞き取り、内容を理解できるようになりました。今でもまったく理解できないこともあります。そういう時は、まだまだ自分が分からない英語の分野なんだと思って、ただ聞き流してます。

そのうちわかるようになるから、焦らなくていいですよ。

ここが大事です。また、そのために続けることが大事なんです。

ドクターマクラレンの奥さんの話、プロポーズの話とか。これも本編とは関係ないんですが、楽しいですよ。運が良ければ聞くことができるでしょう。

さて。そんな『ESL』ですが、スマートフォンやタブレットPCで学ぶのが効果的です。アプリを使えばオフラインでも外で聞けますので、私は会社への行き帰りに車の中で聞いてます。だいたい20分。通勤時間に丁度良いでしょ。

そしてお昼休みにダイアログの英文を読解するんです。アプリでは簡単な辞書機能が搭載されているので、わからない単語も辞書要らずで確認できます。

ただ、難しい熟語などは別に書きだし、辞書アプリで調べるようにしてますよ。

アプリもいろいろあるみたいですが、私が使っているのは『EASY ENGLISH』というもの。アプリのアイコンでは何故か「VOA」と書かれています。このアプリはもしかしたら、『ESL』よりも『VOA』で英語を学ぶためのアプリなのかも知れませんね。

『VOA』はほとんど使ってないですが、英語の動画を見ることができます。ニュースとか。英語力が上がってきたら、こういうのを見て学ぶのもいいかもしれませんね。今のところ、私はNHKの「E-NEWS」で十分です。

～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～

さて、これで私の英語学習のポイントはある程度網羅できました。私が年内に書いてきたことを参考に英語を学ぶならば、あなたは3年後にはかなり英語が上達しているでしょう。それもかなり、実践的なね。

習いごとの人気ランキングに英語があり、英語塾は結構お金がかかるって話ですが、実質タダで英語力を身に付けることができます。

金がなくてもバカでも、英語ができるようになるんだって！

学歴コンプレックス（私です）大歓迎。
高学歴のインテリを見返してやりましょう！

.....ちなみにこの英語ブログはまだまだ続きますヨ。